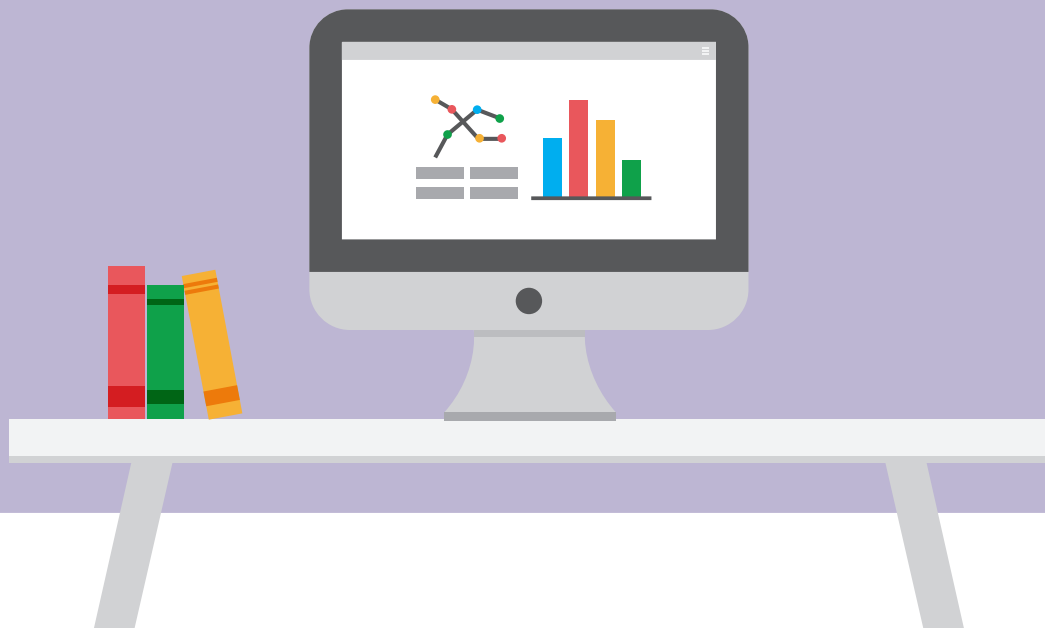


Guide to Self-education Sheet



[四国大学スタンダード] 自己教育力ガイド

自己教育カシートに係る教職員の指導の手引き



人が集まる「人」をつくる、大学。



四国大学スタンダードと自己教育カシート

本学では、新しい時代にふさわしい人材を育てることを目標に、「四国大学スタンダード」を設定しました。四国大学スタンダードは授業や課外活動など学生生活全般を通じて確実に身につけてほしい資質・能力のことで、「社会人基礎力」、「自己教育力」、「人間・社会関係力」の3つの力を求めています。

このうち自己教育力を達成するために、学生一人ひとりの成長を記録するシートが「自己教育カシート」です。自己教育カシートは、自己教育力として求める資質・能力を表す「自己評価シート」、成長の記録が可視化できる「自己評価レーダーチャート」、および学生と関係教員の密接なコミュニケーションのための「コメントシート」から構成されています。

自己教育カシートには、本学のほぼ全教職員が関わっていくこととなります。学生とのコミュニケーションを通じて適切に助言・指導をしてください。

自己評価シート

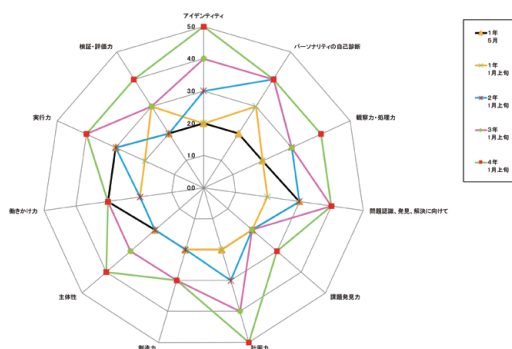
四国大学スタンダード自己教育カシート 【 大 学 】

学生番号 2021909999 氏名 徳島 太郎

1 必要な資質能力についての自己評価

必要な資質能力の指標・内容			自己評価(入力例)				
分類	項目	指標・内容	1年 5月	1年 1月上旬	2年 1月上旬	3年 1月上旬	4年 1月上旬
① 自己理解・省察力	アイデンティティ	自らの住んでいる地域の歴史、文化、経済などを知りアイデンティティをもっている。	2	2	3	4	5
	パーソナリティの自己診断	自分の性格について長所や短所など十分に理解し、自らの課題も自覚できている。	2	3	4	4	4
	観察力・処理力	観察を通して、物事の真の姿を間違いなく理解しようとする力と、それらを分析して正しく処理できる力が備わっている。	2	2	3	3	4
② 目標・課題設定力	問題認識、発見、解決に向けて	問題の本質を理解・認識・発見して解決する能力を磨くための基本スキル(聴くスキル、質問するスキル、情報を収集し整理する力、問題を構造化・客観化する力など)を身に付けている。	3	2	3	4	4
	課題発見力	目標に向かって、自ら「ここに問題があり、解決が必要だ」と提案できる。	2	2	2	2	3
	計画力	課題の解決に向けた複数のプロセスを明確にし、「その中で最善のものは何か」を検討し、それに向けた準備をすることができる。	2	2	3	4	5
	創造力	既存の発想にとらわれず、課題に対して新しい解決方法を考えることができる。	2	2	2	3	3
③ 向上・探究する力	主体性	指示を待つのではなく、自らやるべきことを見つけて積極的に取り組むことができる。	2	2	2	3	4
	働きかけ力	「やろうじゃないか」と呼びかけ、目的に向かって周囲の人々を動かしていく。	3	2	2	3	3
	実行力	言われたことをやるだけでなく、自ら目標を設定し失敗を恐れず行動に移し、粘り強く取り組む。	3	2	3	4	4
	検証・評価力	実施結果を振り返り更なる成長に向けての機会を求める。 ①目標通り実施できたかどうか検証する。 ②目標と実施結果の相違を把握し評価する。 ③今後、目標を達成あるいはより高次の目標を達成するための計画を立てる。	2	3	2	3	4

自己評価レーダーチャート



各担当教員の役割

学生への入力指導、取り組み途中の助言、入力したコメントの確認、コメントに対する評価コメントの入力をしてください。
各担当教員の役割は以下のとおりです。

初年次ゼミⅠ・Ⅱ(大学)、初年次ゼミ(短大) 担当教員

初年次ゼミⅠ

- ① 学生への入力指導：授業内で自己教育力を身につける方法や自己教育力シートの入力方法について説明してください。また、自己評価シートの「1自己評価」、コメントシートの「2自分の課題」の入力をサポートしてください。

初年次ゼミⅡ

- ① 学生への入力指導：授業終了時に、自己評価シートの「1自己評価」、コメントシートの「3自分の課題に対する取り組み(授業科目)」の入力をサポートしてください。
- ② 学生が入力したコメントの確認・評価コメントの入力

初年次ゼミ

- ① 学生への入力指導：授業内で自己教育力を身につける方法や自己教育力シートの入力方法について説明してください。また、自己評価シートの「1自己評価」、コメントシートの「2自分の課題」の入力をサポートしてください。
授業終了時には、コメントシートの「3自分の課題に対する取り組み(授業科目)」の入力をサポートしてください。
- ② 学生が入力したコメントの確認・評価コメントの入力

学科等が指定した科目の担当教員

変更

前期科目

- ① 学生への入力指導：年度初めに、コメントシートの「2自分の課題」の入力をサポートしてください。
- ② 学生が入力したコメントの確認・評価コメントの入力

変更

後期科目

- ① 学生への入力指導：授業終了時に、自己評価シートの「1自己評価」の入力をサポートしてください。
- ② 学生が入力したコメントの確認・評価コメントの入力 最終学期の担当教員はさらに

顧問

- ① 学生が入力したコメントの確認・評価コメントの入力

チューター

- ① 学生が入力したコメントの確認・評価コメントの入力

- ② 学生への入力指導：年度ごとに、未入力の学生への入力指導をしてください。学生の入力状況については、全学共通教育センターの担当教員にご連絡いただければ、シートを印刷します。

- ・★は必ず入力する項目です。
- ・★は履修した場合、必ず入力する項目です。
- ・「4自分の課題に対する取り組み(正課外活動等)」、「5ボランティア活動に対する取り組み・6大学行事等への参加」は取り組んだ項目について入力するよう促してください。

重要

- ・各学年で必要な箇所の入力が完了するようにご指導ください。

コメントシート(例:大学)

四国大学スタンダード自己教育カシート 【 大 学 】

学生番号 _____ 氏名 _____

2 自分の課題

2 自分の課題			チューターの確認	
1年次	現状の課題	年度初め	入力欄①	★
2年次	現状の課題			★
3年次	現状の課題			★
4年次	現状の課題			★

(注) 2年次以降は、6年度まで(現状の課題)を入力する。

3 自分の課題に対する取り組み(授業科目)

3 自分の課題に対する取り組み(授業科目)					
学年	科目名	学んだこと	今後の課題	担当教員名	履修教員評価コメント
1年次	初年度ゼミ	授業終了時			入力欄②
2年次					
3年次					
4年次前期	看護研究				

(注) 2~3年次は、学科が指定する履修科目およびそれに準ずる科目とする。

4 自分の課題に対する取り組み(正課外活動)

4 自分の課題に対する取り組み(正課外活動)					
学年	名称	学んだこと	今後の課題	担当教員名	履修教員評価コメント
1年次		取り組み終了時			入力欄③
2年次					
3年次					

5 ボランティア活動に対する取り組み
6 大学行事等への参加

5 大学行事等への参加・ボランティア活動に対する取り組み					
学年	名称	学んだこと	今後の課題	チューター名	チューターの評価コメント
1年次	第4回教養講座(前期)	取り組み終了時			入力欄④
	第4回教養講座(後期)				
2年次					
3年次					
4年次					

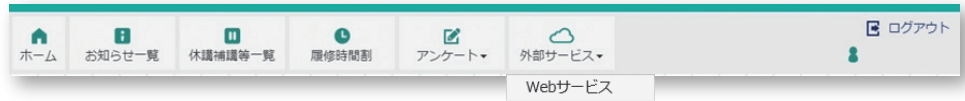
7 総合評価

7 総合評価		達成度の自己評価	ゼミ履修教員評価コメント	履修教員名	チューターの評価コメント
4年次	12月~1月	入力欄⑤			入力欄⑥

※総合評価の入力時期は学科によって異なる。

入カマニュアル

- 1 メニューの【外部サービス】をクリックしてサブメニューを表示し、【Webサービス】をクリックします。



- 2 【Web学生カルテ】をクリックし、【自己教育カシステム】をクリックします。



- 3 ()内に対象学生人数が表示されている学年をクリックします。

自己教育カシステム 教員メニュー				
1 自己評価シート(閲覧のみ)	1年	2年	3年	4年
2 自分の課題	1年 (0)	2年 (1)	3年 (0)	4年 (0)
3 自分の課題に対する取り組み(授業科目)	1年 (48)	2年 (11)	3年 (12)	4年 (0)
4 自分の課題に対する取り組み(正課外活動)	1年 (0)	2年 (1)	3年 (1)	4年 (0)
5 自分の課題に対する取り組み(ボランティア)	1年 (3)	2年 (2)	3年 (0)	4年 (0)
6 大学行事等への出席・参加(教養講座、セミナー等)	1年 (17)	2年 (3)	3年 (2)	4年 (0)
7 総合評価		2年 (0)	3年 (0)	4年 (0)
8 自己教育カシート	1年	2年	3年	4年
8 自己教育カシート(ファイル指定)	ファイル指定			

上段:2017年度以前
下段:2018年度以降
※は「5 自分の課題に対する取り組み(ボランティア)」と共通です。

- 4 (1) 検索条件を入力します。「空白」の場合は、対象となっている学生全てが表示されます(①)。
 (2) 「検索」をクリックすると(②)、対象学生の情報が表示されます(③)。
 (3) 「評価コメント」欄に、コメントを入力してください(④)。
 (4) 入力後必ず「登録」をクリックしてください。この操作で登録となりますのでご注意ください(⑤)。

3 自分の課題に対する取り組み(授業科目) 1年

学部: [] 学科: [] 学生番号: [] 学年: [] 学生名: [] 入力状況: [] 検索 [2]

ダウンロード [] ファイルを選択 [] 選択されていません [] ファイルから登録 [6]

登録 [5] [3] [4] 戻る

学生番号	氏名	科目名	学んだこと	今後の課題	担当教員名	担当教員評価コメント
990081001	教育 太郎	初年次ゼミⅡ	グループでプレゼンしたことによって、人と協力するのがいかに難しく、達成感が大きいかを学びました。また、ディベートでは自分の意見をもちつことが大事なのがわかり、しっかりと自分の意見を持たないといけないと思えました。	自分の意見をきちんと持ちながら人の意見に耳を傾けることです。また、自分からコミュニケーションをとっていくことです。	山田 太郎	授業ではリーダ的存在でした。皆をよくまとめて発表に繋げていったと思います。
990067010	短大 太郎	初年次ゼミ	ディベートの意義、協力して物事を成る大切さ、自分の意見のまのめ方などを体験して学ぶことができた。特にディベートではいかに自分の意見をすらすらと話し続けられるか、相手に引っ張られないようにするには、などいろいろ考え自分を高めることができた。	意見を明確に、しっかり相手に伝わるようにすること。相手の言葉で、簡単に意思がぶれないように、自分を見失わないようにする。	山田 太郎	ディベートのテーマ変更の助言があり、プレゼンの内容分りやすく、よかったです。

登録 [] 戻る

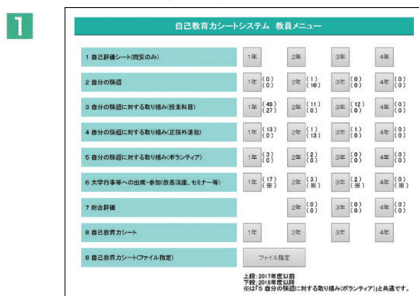
自己教育カシートに関するQ & A

Q1 卒業研究のゼミ担当教員とチューター教員が同じなのですが、「7.総合評価」のコメントはどちらに書けばいいですか？

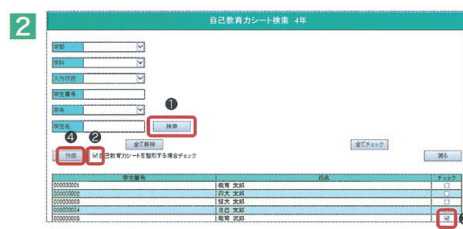
A ゼミ担当教員評価コメントにご入力ください。チューターの確認欄には「ゼミ担当教員のため、省略する」など同一人物であることをご入力ください。

Q2 コメントシート全体を表示させて確認することはできますか？

A 教員メニュー画面の「8.自己教育カシート」からExcelデータで確認することができます。



8 自己教育カシートの「学年」ボタンをクリック



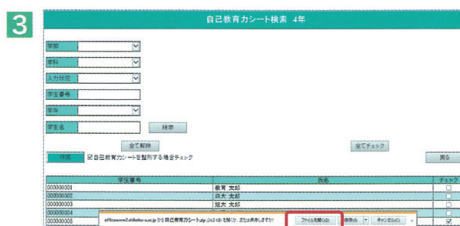
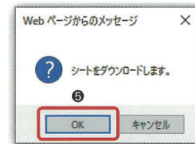
①「検索」ボタンをクリックすると学生一覧が表示

②と③をチェックして

④「作成」ボタンをクリック

ダウンロードのメッセージが表示されたら

⑤「OK」ボタンをクリック



ダウンロードフォルダに ZIP ファイルとして保存される。

※PCのバージョンにより、文字化けする場合があります。

ファイル名を「○○○.zip」に変更すれば正常に開くことができます。

Q3 途中でチューターが変更になった場合はどうすればいいですか？

A システムの設定を変更しますので、全学共通教育センターにご連絡ください。

Q4 5 ボランティアと6 大学行事のコメント欄がグレーになっていて入力できません。

A 平成30年度入学生より学生の1年間の入力に対し、チューターのコメントは一方所のみとなりました。

Q5 5 ボランティアと6 大学行事の欄に同じ内容が表示されます。

A 平成30年度入学生より、5 ボランティアと6 大学行事がひとまとめになって確認できるようにシステムを変更しました。